

公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会

事業報告及び決算

平成26年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(事業報告)	(頁)
I 概況	1
II 事業活動	4
1 概要	
III 法人の管理運営	6
1 理事会	
2 評議員会	
3 監査	
IV 附属明細書	8

## I 概 況

長寿社会についての意識啓発及び高齢者の生きがいと健康づくりの推進等に関する事業を行い、もって「ぬくもりと活力のある長寿社会」の建設に資することを目的に、幅広い取り組みを積極的に進めてきた。

とりわけ、シルバー大学院では、社会貢献活動に意欲のある方に、学習機会をより多く提供するため、55歳からの出願を可能とするとともに、シルバー大学校及び同大学院を卒業していない方も出願できるよう入学資格の変更を行った。

また、シルバー大学校に関しては、シルバー大学校各校のOB会が、卒業生の地域活動等の核として機能するよう、各校OB会に対し、組織化支援・地域活動支援を行い、平成26年7月には東みよし校連合OB会が設立した。これにより県下9校すべての学校においてOB会が設立となった。

そのほか、「生きがいづくり推進員」登録者へは、「シニア応援サイト」による情報の発信の他、指導者養成実践講座（健康づくりシニアサポーター養成事業）を実施するとともに、活動開始から3年目となる阿波十郎兵衛屋敷観光ガイドボランティアへのスキルアップ研修会を実施するなど、推進員個々の能力アップや活動の場の更なる創出に努めた。

さらに、情報誌「いのち輝く」、ホームページなどによる長寿社会に関する様々な情報の提供や、県健康福祉祭及びサテライト大会（県南・県西部）の開催、全国健康福祉祭へ選手等の派遣、関西広域連合構成府県との結びつきを活かした、域内シルバー大学校等連携事業への参加、シルバー大学校へ通学が困難な方への放送講座の開講及び地域訪問講座の開催、高齢者の方々の福祉、健康、法律などの様々な相談への対応などを実施してきたところである。

また、これまでの県健康福祉祭への協賛金及び情報誌への広告の他、全国健康福祉祭で使用する徳島県選手団のユニフォーム購入に係るスポンサーや、シルバー大学校・同大学院入学者募集案内への広告を新たに募集し、収入財源の確保に努めた。

今後とも、創意工夫をしながら、各種事業を着実に実施し、高齢者の方々が、いきいきと充実した生活を送れるような社会の実現に向け、更なる努力を重ねていく必要がある。

### 法人の設立年月日

平成元年7月1日

### 定款に定める目的

この法人は、長寿社会についての意識啓発及び高齢者の生きがいと健康づくりの推進等に関する事業を行い、もって「ぬくもりと活力のある長寿社会」の建設に資することを目的とする。

### 定款に定める事業内容

- (1) 明るい長寿社会づくりについての普及啓発に関する事業
- (2) 高齢者の生きがいと健康づくりを推進するための組織づくりに関する事業
- (3) 高齢者の社会活動の振興のための指導者等の育成に関する事業
- (4) 高齢者総合相談センターの受託運営に関する事業
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 所管官庁に関する事項

徳島県監察局評価検査課

### 主たる事務所

徳島県徳島市中昭和町1丁目2番地 徳島県立総合センター2階

## 職員に関する事項（平成27年3月31日現在）

職員数 15名

## 役員等に関する事項（平成27年3月31日現在）

### <評議員>

氏名	現職
伊勢悦子	徳島県民生委員児童委員協議会会長
岩崎啓二	徳島県市長会事務局長
尾池佳代子	徳島県中小企業団体中央会事務局長
岡田好史	一般社団法人徳島県銀行協会会長
小田隆伸	徳島商工会議所常務理事
神子稔邦	徳島県青年連合会事務局長
川長光男	徳島県町村会常務理事
栗尾銭二郎	徳島県健康生きがいつくりアドバイザー協議会会長
齋藤伸一	徳島県農業協同組合中央会常務理事
葉久真理	国立大学法人徳島大学大学院教授
藤田育美	一般財団法人徳島県婦人団体連合会会長
細井孝子	特定非営利活動法人とくしま県民活動プラザ常務理事兼事務局長
森田昇	一般社団法人生命保険協会徳島県協会地方事務局長
森本佳広	日本労働組合総連合会徳島県連合会事務局長
松本聡	徳島県商工会連合会事務局長

### <代表理事>

氏名	現職
飯泉嘉門	公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会理事長 徳島県知事
森本哲生	公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会副理事長

### <業務執行理事>

氏名	現職
竹田伸也	公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会常務理事

<理事>

氏名	現職
飯泉嘉門	徳島県知事
伊丹一夫	公益財団法人徳島県老人クラブ連合会会長
梶浦豊子	社会福祉法人徳島県社会福祉協議会評議員
北川浩一郎	日本放送協会徳島放送局営業部部長
佐藤修斎	一般社団法人徳島県歯科医師会
篠原静	公益社団法人徳島県看護協会監事
竹田伸也	公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会常務理事兼事務局長
中村真由美	一般社団法人徳島県医師会事務局
中山昌作	公益財団法人徳島県体育協会副会長
坂東喜夫	徳島県シルバー大学校徳島校OB会顧問
船越知	一般社団法人徳島新聞社論説委員会論説委員
南博	一般社団法人徳島県薬剤師会顧問
森本哲生	公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会副理事長
矢田等	四国放送株式会社常務取締役
米田潤二	特定非営利活動法人徳島県レクリエーション協会会長

<監事>

氏名	現職
安芸通彦	徳島県会計管理者
板東豊彦	株式会社徳島銀行取締役常務執行役員

## II 事業活動

### 1 概要

#### (1) 公益目的事業1

情報誌の発行や高齢者の生きがいと健康づくりの推進、世代間・地域間交流などを目的とするイベントの開催などを通じて、広く県民に明るい長寿社会づくりについての啓発を行う事業

#### ア 長寿社会啓発事業（高齢者糖尿病予防対策推進事業を含む。）

情報誌「いのち輝く」を年間3回（夏号（平成26年5月15日）、秋号（9月15日）、春号（1月15日））各4、200部発行。長寿社会啓発ビデオの無料貸し出し及び当協議会のHP等を通じて、長寿社会関係の様々な情報を収集・提供することにより、明るい長寿社会づくりの取組みについて広く県民に対して意識の高揚を図った。

#### イ 徳島県健康福祉祭の開催及び全国健康福祉祭への選手等派遣事業

高齢者自身が参加するスポーツ・文化の交流イベントや、小学生からの長寿社会に関する作文・絵の募集、高齢者美術展などを盛り込んだ「徳島県健康福祉祭（徳島県との共催）」を平成26年10月25日を中心に徳島市で開催。来場者数（スポーツ・文化交流大会約3,400人）、出品数（小学生の絵198点、小学生の作文1,544点、高齢者美術展143点）となった。また県南部・県西部において「県健康福祉祭サテライト大会」を開催し、「地方からの参加者にも身近で親しみやすい」大会とし、事業効果を県内すみずみに波及させるよう取り組んだ。当大会開催により高齢者の生きがいと健康づくりを推進するとともに、県民を挙げて「ぬくもりと活力のある長寿社会づくり」に取り組む必要性を普及啓発した。

また、高齢者を中心とするスポーツ、文化、健康と福祉の祭典である「全国健康福祉祭（厚生労働省、開催地自治体、（一財）長寿社会開発センター共催）」が栃木県で平成26年10月4日から10月7日までの4日間開催され、132名の選手団を派遣した。

#### <事業実施の財源>

長寿社会啓発事業（高齢者糖尿病予防対策推進受託事業含む。）は、情報誌を関係機関等への無償配布以外に1部300円で一般書店等での販売も行っているが、その収益により経費を支弁できないため、徳島県からの「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業費補助金」及び「高齢者糖尿病予防対策推進業務委託金」をもって支弁している。

徳島県健康福祉祭の開催及び全国健康福祉祭への選手等派遣事業は、徳島県からの「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業費補助金」により実施。

#### (2) 公益目的事業2

高齢者自身が生きがいを持って豊かな高齢期を創造できるよう、能力の再開発を支援するとともに、社会活動の振興のための指導者として活躍できる人材を育成する事業

#### ア シルバー大学校の開講事業

高齢者自身が生きがいを持って豊かな高齢期を創造できるよう、能力の再開発を支援し地域福祉を推進するリーダーを養成する事業。平成26年度で第34期を迎え、徳島校、鳴門校など県下各地に9校で講座を開講。福祉、社会経済などの教養科目と歴史文化、ICT、防災などの選択科目を学習。学習時間は、年間30日、120時間。529名が入学し、489名が卒業（卒業率92.4%）した。入学金は無料で、授業料は年額5千円。

#### イ シルバー大学校大学院の開講事業

高齢者自身が生きがいを持って生活し、地域社会の重要な担い手として活躍できる環境づくりを図るため、シルバー大学校の卒業生を対象にさらに専門的で高いレベルの学習機会を提供し、卒業後は社会貢献活動を推進する人材を養成する事業。平成16年度より開始し平成26年度で第11期を迎えた。歴史文化講座、健康スポーツ講座、ICT講座（4教室）、防災講座の4講座で、徳島市、鳴門市、阿南市、北島町、東みよし町で開講。学習時間は、年間40日160時間。133名が入学し、129名が卒業（卒業率97.0%）した。入学金は無料で、授業料は年額1万円。

#### ウ 高齢者の生きがいがづくり活動促進等事業

シルバー大学校大学院の卒業者を対象に、同大学院等で培ってきた知識、技術、経験等を生かし地域貢献、社会貢献を推進する人材を「生きがいがづくり推進員」として当協議会に登録。登録者は当協議会が主催するシルバー大学校の講師、補助講師をはじめ、県下小学校のICT授業支援・HP更新支援、阿波十郎兵衛屋敷での観光ボランティアガイド活動、防災人材育成センターでの各種事業の補助など幅広い活動を行った。

また、この生きがいがづくり推進員制度をより充実するため、登録者データベースの充実、生きがいがづくり推進員の活動の紹介や関係機関が利用しやすいデータベースの公開（シニア応援サイトの更新）及び、スキルアップ等の支援として指導者養成実践講座（健康づくりシニアサポーター養成事業（7名を健康づくりシニアサポーター認定））等を実施。

またシルバー大学校卒業生で組織するOB会のネットワークづくり等を推進し、情報交換等により地域貢献活動等のOB会活動を更に充実することを目的に、グランド・ゴルフ交流大会（373名）等を実施。

また、ひとり暮らし等の高齢者が住み慣れた地域の中で安心して暮らせるよう、ICTを活用した日常的な支え合い活動の体制作りを推進することを目的に、阿南市、吉野川市、美馬市、牟岐町の4市町で3日間のパソコン講習会を実施。受講生は阿南市20名、吉野川市30名、美馬市20名、牟岐町20名で、会場は各地域のパソコン設置会場である、阿南市富岡公民館、吉野川市文化研修センター、美馬市脇町庁舎、牟岐町海の総合文化センターで実施。

パソコンの基本操作、ワードの利用（チラシ・パンフレット作成、はがき作成）等について学習した。なお、当事業で使用したパソコンは、設置会場と連携し、地域の高齢者、関係団体等へ貸し出しを行い、地域での高齢者同士のパソコンを通じた交流による支え合い体制づくりの推進を図った。

また、地域訪問講座「シルバー大学校がやってくる」を那賀町で開催。住み慣れた地域で学びと交流の機会を提供することで、同地域・同世代の高齢者同士の和が築け、高齢者の人・地域との繋がりを促進できた。なお、今後も「高齢者学びの過疎地」を対象に当協議会が自主企画する地域訪問講座事業を継続的に実施する。

#### エ 生き生きシニア放送講座開講事業

シルバー大学校等に通学が困難な高齢者等に対し、ケーブルテレビを活用した「自宅で受講できる高齢者向け講座」を提供し、「生きがいがづくり」や「地域活動のきっかけづくり」としていただいた。

平成26年10月1日から平成27年3月31日までの期間に、8講座（1回50分、シルバー大学校等の講座の中から選定委員により選定）を県内全域のケーブルテレビを利用し放送した。受講者数は86名で、概ね半分以上の講座を視聴し、講座の内容や感想文を受講手帳に記載・提出した者に終了認定証を交付。受講料は年間1,000円。

#### オ 関西広域連合・シルバー大学校等連携事業

関西広域連合における構成府県との結び付きを活かし、各府県のシルバー大学校等と連携を図り、在学生と卒業生と交流を促進することにより、高齢者が有する「知識」、「能力」の更なる向上を図るとともに、これまでにない「県境を越えた新たな仲間づくり」や、「新たな生きがいがづくり」につなげることを目的に、兵庫県での域内シルバー大学校卒業生等の学び・情報交換・交流の場へ参加した。滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山からも参加があり、各県との情報交換、本県シルバー大学校等卒業生の活動の紹介等を行った。

#### <事業実施の財源>

シルバー大学校及び大学院開講事業、生き生きシニア放送講座開講事業は、受講生よりそれぞれ年額授業料（5千円、1万円、1千円、共に入学金は無料）を徴収し、事業費に充当しているが、不足分については徳島県からの「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業費補助金」をもって支弁している。

高齢者の生きがいがづくり活動促進等事業、関西広域連合・シルバー大学校等連携事業は、徳島県からの「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業費補助金」により実施。

#### (3) 公益目的事業3

高齢者やその家族の広範多岐にわたる相談需要に適切に対応できるよう、専門家の活用や関係機関との連携により、無料で行う相談・助言事業

#### ア 徳島県高齢者総合相談センター運営事業

徳島県から高齢者総合相談センターの運営を受託し、広範多岐にわたる高齢者やその家族の心配ごと・悩みごとに適切に対応できるよう、当センター相談員による一般相談をはじめ、こころ、法律、医療、税金の相談などの専門的な相談には保健師、弁護士、医師、税理士などの専門相談員を配置し、無料で適切な助言を行った。

電話、来所、電子メールによる相談受付を実施。フリーダイヤルを設置。

所長1名（あいランド次長が兼務）、相談員1名（非常勤）の2名体制。一般相談の他、専門相談日を決め専門相談員5名（保健師、弁護士、医師、看護師、税理士）で対応。

平成26年度相談実績735件（一般相談581件、専門相談154件）（来所相談94件、電話相談641件）（専門相談の内訳：こころ63件、法律48件、内科医療20件、健康・介護・虐待12件、税金11件）

#### <当該事業の受託理由>

当協議会は、平成元年の設立以来、官民一体となって明るい長寿社会づくりに向けた各種事業を推進することにより、高齢福祉に関する専門性や実績を有するとともに、県、市町村をはじめとする関係機関・関係団体との間に緊密なネットワークを構築し、広域化、多様化、複雑化する高齢者等からの相談需要に適切な対応が図れる体制が整備されている。

また、円滑な相談業務が行えるよう、当協議会の執務室とは別の独立した事務室を構え、事務室内にも仕切りのある相談室を配置していることや、一般相談員2名を常勤的に配備するとともに、法律相談等の専門的な相談にも対応できる体制（専門相談員の配置）を整備し、高齢者及びその家族の多様な相談にワンストップで対応できる体制を有していることなどから、円滑な相談業務が実施可能である。

#### <事業実施の財源>

徳島県からの「徳島県高齢者総合相談センター運営事業委託金」により実施。

### III 法人の管理運営

#### 1 理事会

##### 第7回理事会

開催日	平成26年5月29日（木）
会場	徳島県庁
報告事項	理事の職務の執行状況について
議決事項	①平成25年度事業報告及び決算について ②定時評議員会の招集決定及び提出議案について

##### 第8回理事会

開催日	平成27年3月16日（月）
場所	徳島県庁
報告事項	理事の職務の執行状況について
議決事項	①平成26年度補正予算について ②平成27年度事業計画及び予算について ③評議員会の招集決定及び提出議案について

#### 決議の省略

日時	平成26年6月13日（金）
議決事項	業務執行理事の選定について

常務理事 竹田 伸也

## 決議の省略

日 時 平成26年6月16日（月）  
議決事項 評議員会へ提案する理事の選任に係る理事会案について  
選任（案）北川 浩一郎

## 2 評議員会

### 第7回定時評議員会

開催日 平成26年6月13日（金）  
場 所 徳島県立総合福祉センター  
報告事項 平成25年度事業報告について  
議決事項 ①平成25年度決算について  
②役員等の選任について

### 第8回評議員会

開催日 平成27年3月25日（水）  
場 所 徳島県立総合福祉センター  
報告事項 ①平成26年度補正予算について  
②平成27年度事業計画及び予算について  
議決事項 ①役員の報酬について

## 決議の省略

日 時 平成26年6月16日（月）  
議決事項 理事の選任について  
選任 北川 浩一郎

## 3 監査

### 監事監査

実施日・場所  
・安芸監事：平成26年5月12日（月）（徳島県庁会計管理者室）  
・板東監事：平成26年5月12日（月）（徳島銀行本店）  
監査対象 平成25年度

### 平成26年度財政的援助団体等監査

日 時 平成26年12月16日（火）  
場 所 徳島県監査室  
対象年度 平成25年度  
監査結果 会計処理において、公益法人会計基準に基づき行われていないものがある。  
今後、組織の見直し、研修の充実を図り、早急に適正な処理ができる体制を整える必要がある。



#### IV 附属明細書

平成26年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項が存在しないので作成しない。

平成27年5月

公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会